

池西 剛 展

正統の探求・陶の奇才



黄瀬戸経筒



備前徳利



伊部茶碗



灰釉花入

2011年
10月16日(日) ▶ 11月27日(日)

休館日：月、火曜日（祝日は開館）

開館時間：午前9:30～午後5:00（入館は午後4:45まで） 入場料：一般600円（前売り400円）、高大生300円、中学生以下無料

主催：ミウラート・ヴィレッジ（三浦美術館） 協賛：株式会社ミウラ 協力：ギャラリーラボ、ギャラリー わたし

後援：愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛



信楽壺



扁壺



大井戸茶碗

このたびミウラート・ヴィレッジでは、「正統の探求・陶の奇才 池西剛展」を開催いたします。

池西氏は1961年大阪府に生まれ、各地にて日本、朝鮮、中国の陶磁を学び、1993年愛媛県今治市に築窯、「不言窯」と命名し、その後団体に属することもなく、この愛媛の地で制作を続けてこられました。

池西氏が手がけるやきものは信楽焼、備前焼、高麗茶碗、黄瀬戸、瀬戸黒、黒高麗、唐津、白磁など多岐にわたりますが、どの分野においてもその作品からは池西氏の類いまれなる才能と、陶磁に向き合う真剣な眼差しと姿勢を垣間観ることができます。

池西氏にとって古陶磁の忠実な再現は単なる初歩的な基礎技術であり、その作品は、あえて古典的な姿を規範とするなかに古今東西さまざまな分野の美の要素を融和させることを主眼としており、その上でやきものにおける普遍的な美、ひいては日本の美や思想の正統を探求し続けることを目的とされています。

この展覧会では、池西氏の作品と、その「座傍の師」であり制作の基盤ともなっている氏の蒐集品の一部をあわせて展示いたします。是非この機会に多くの方にご覧いただければ幸いです。

ミウラート・ヴィレッジ 館長
白石 省三

オープニングイベント

「同時代のやきものとヨーロッパ音楽の伝播と伝承」

—グリーンスリーブスと呼ばれる楽曲たち— ギター演奏 金澤 光秀

2011年10月16日(日)午後2:00～午後2:45

関連イベント

池西 剛氏 × Brian Waku Miller(ミラー和空)氏による対談

2011年10月30日(日)午後2:00～

テーマ:やきものにおける「現代性、オリジナリティ、伝統」とは何か。

作家 池西 剛氏による「やきもの講座」全10回

各日 午後2:00～ ※ただし11月2日(水)は午後1:00～

「茶、花、食、酒の器 —各器種の用と見立てについて—」

2011年10月23日(日)、29日(土)、11月2日(水)、6日(日)、19日(土)

「やきものの常識や通説のウソ

—やきものの業界で伝えられている情報は果たして本当か—

2011年10月22日(土)、11月2日(水)、5日(土)、6日(日)、13日(日)

「素材と技法の実際 —土、釉薬、窯、焼成に関する具体的な話—」

2011年11月5日(土)、12日(土)

「日本のやきものの移りかわりと歴史

—それぞれのやきものの出現と背景・変遷と接続点—

2011年10月22日(土)、29日(土)、11月2日(水)、12日(土)、20日(日)

「やきもの随談 —質疑応答を交えて—」

2011年10月23日(日)、11月2日(水)、13日(日)、19日(土)、20日(日)

※いずれのイベントも、事前申込不要、入場料のみでご参加いただけますが、
「対談」「やきもの講座」については、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

展覧会予告

M.コレクション展Ⅲ

2011年12月7日(水)～2012年1月29日(日)

(年末年始休館あり)



黄瀬戸茶入



黄瀬戸梅文鉢



公共の交通機関をご利用の場合 —

◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス北条行き「内宮バス停」又は「花見橋バス停」下車 徒歩約10分

◆ 松山空港より車で約30分

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL 089-978-6838 FAX 089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail: fvbm2360@mb.infoweb.ne.jp

駐車場: 30台と 休日は臨時駐車場(三浦工業福角駐車場 約250台)をご利用いただけます。